

○ Bridgestone E8 Commitment



「Bridgestone E8 Commitment」は、「未来からの信任を得ながら経営を進める軸」であり、ブリヂストンの企業活動の軸とするものです。また、2000年代から本格的にグローバルで開始した当社グループのサステナビリティへ向けた活動の進化形でもあります。当社グループは創業以来、使命「最高の品質で社会に貢献」の下、変わりゆく社会のニーズに対応し、それぞれの時代において一人ひとりの安心・安全な移動や暮らしを支え続けるために事業を拡大・進化させてきました。そして使命を具現化し、グループ全体で軸がぶれないCSR活動を推進するために、2007年にCSR「22の課題」を設定し、グローバルで網羅的なCSR活動に取り組みました。その成果として、2017年には、CSR活動の重点領域を明確にしたグローバルCSR体系「Our Way to Serve」を制定し、ブリヂストンらしい3つの重点領域「モビリティ」「一人ひとりの生活」「環境」を設定し、各拠点で地域社会に寄り添った社会貢献活動を推進しました。そして、次のステージとして、3つの重点領域を包含した経営視点の企業コミットメントへ進化させたものがBridgestone E8 Commitmentです。

2031年の創立100周年、その先を見据えて、ビジョンで掲げるサステナブルなソリューションカンパニーへ向けた変革を加速していくため、2022年の創立91周年記念日に制定しました。このコミットメントは、地球は未来の子供たちからの預かり物という想いのもと、当社グループの使命、企業理念や、ブリヂストンDNA、ビジョンに合致し、当社グループの企業活動全体、将来の可能性を包含しています。ブリヂストンらしさにこだわり定義した「E」で始まる言葉で表現した8つの価値を、ブリヂストンらしい「目的」と「手段」で、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創出し、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

共感から共創へ

2022年3月の発表から、社内外で浸透活動を推進してきました。メディアや社外イベントでの露出、タウンホールミーティング等での経営陣と従業員間でのコミュニケーション、社内研修や、8つの「E」の価値と日常業務の結びつきについての各職場での議論・活動推進など、理解の深化・共感促進に向けた取り組みをグローバル各地で実施した結果、2022年7月に実施したグローバル社内浸透度調査では、9割の従業員が認知、7割が共感しています。

さらに社外パートナーの皆様とも、Bridgestone E8 Commitmentを体現する取り組みが実現しています。一例として、有人月面探査車の開発チームに参画し、月面用タイヤを開発する「宇宙」へ挑戦する取り組み「Extension—一人とモノの移動を止めず、さらにその革新を支えていく」、日本経済大学と連携したウクライナ避難民学生・留学生のインターシップ等を通じた「Empowerment—すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくり」への貢献など、着実に取り組みを進めています。



Energy

カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えることにコミットする

2050年のカーボンニュートラル化に向けて、グループの生産拠点における再生可能エネルギー（電力）比率の拡大に加えて、「EV時代の新たなプレミアム」ENLITEN搭載商品の拡大や、当社グループの小売サービスソリューションネットワーク網を活用したEV充電ネットワークの拡充など、EVの普及を支元から支えています。さらに、リトレッド、ソリューションの提供を通じて、お客様がタイヤを「使う」段階でのCO₂削減を強化するとともに、天然ゴム事業において、荒廃地への新規植林によるCO₂吸収・固定量の拡大を進めるなど、タイヤを「創って売る」、「使う」、原材料へ「戻す」バリューチェーン全体で、カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現に向けた取り組みを加速しています。



Ecology

持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐことにコミットする

2050年の100%サステナブルマテリアル化に向けて、バリューチェーン全体でのサーキュラーエコノミーの実現、資源生産性の向上に向けた取り組みを加速していきます。天然ゴム事業や、天然ゴム供給源の多様化を実現するグアール事業を通じ再生可能資源の拡充・多様化を図るとともに、タイヤを「使う」段階でのリトレッドなどのソリューション、原材料へ「戻す」リサイクル事業などを通じ、より循環型・再生型のビジネスモデル構築を目指しています。さらに、サステナブルな調達活動や水資源を大切に使う取り組み、生物多様性貢献活動をグローバルで推進するなど、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐための取り組みを進めています。



Efficiency

モビリティを支え、オペレーションの生産性を最大化することにコミットする

新品タイヤの管理から、使用時のタイヤメンテナンス、リトレッドタイヤの提供まで、タイヤを安全に、長く、上手く、効率的に使用いただくソリューションを提供しています。さらに、タイヤモニタリングシステムTirematicsなどによるタイヤデータを活用したタイヤセントリックソリューションや車両データを収集・分析し最適なオペレーションをお客様に提案するモビリティソリューションなどを組み合わせることで、バリューチェーン全体で安全で効率的な運行を支え、運送事業者様のオペレーションの効率化、生産性を最大化する取り組みを加速していきます。



Extension

人とモノの移動を止めず、さらにその革新を支えていくことにコミットする

ブリヂストンの強みであるグローバルに広がる小売サービスソリューションネットワークの拡充や、技術・ビジネスモデルなどの継続的な革新、イノベーションを実現することで、人とモノの移動や産業を止めないことに貢献していきます。例えば鉱山ソリューションでは、断トツ高耐久性を実現した「Bridgestone MASTERCORE」を中核に、データに基づく最適なタイヤの使い方の提案やお客様に寄り添った現場のメンテナンスサービスにより、過酷な鉱山現場の日々のオペレーションをサポート。また、グローバルを超えて宇宙へ挑戦する月面探査ミッションなど、人類の夢・移動の革新を支えるプロジェクトにも挑戦しています。



Economy

モビリティとオペレーションの経済価値を最大化することに コミットする

断トツ商品と、その価値を増幅するソリューションを中心に、バリューチェーン全体でお客様、ブリヂストン双方のコスト最適化、経済価値を高める取り組みを推進しています。例えば航空ソリューションでは安心・安全を大前提として、対荷重・速度・耐熱／耐冷など過酷な状況下での使用を可能にする断トツ商品力を軸に、複数回リトレッドやお客様との共創によるフライトデータを活用したタイヤの摩耗、耐久予測を組み合わせることで、精度の高い計画的なタイヤ交換を可能にすると共に、ホイール・タイヤ在庫の削減や航空機整備作業の効率化による経済価値向上を実現しています。



Emotion

心動かすモビリティ体験を支えることにコミットする

2023年に60周年を迎えたブリヂストンモータースポーツ活動は、1963年の第1回日本グランプリの国内モータースポーツ参戦から始まり、1997年からは世界最高峰のレースであるF1®に参戦するなど、グローバルでモータースポーツを足元から支えてきました。現在は、サステナブルなグローバルモータースポーツ活動として、タイトルスポンサーとして支えるソーラーカーレース「Bridgestone World Solar Challenge」や電気自動車の国際レース「Bridgestone FIA ecoRally Cup」をサポートするなど、安心・安全で楽しいクルマ・バイク文化、モータースポーツ文化のさらなる発展に貢献していきます。また、自転車やゴルフボールなどスポーツを通じて心動かす体験を提供し、様々な挑戦を支える取り組みを推進していきます。



Ease

より安心で心地よいモビリティライフを支えることにコミットする

ブリヂストンの大原則である「タイヤは生命を乗せている」。乗用車用タイヤ、航空機タイヤや、免震ゴムなどの高性能で高品質な商品の提供はもちろん、安全教育や交通安全活動などを推進しています。特に交通安全活動については、2022年から2025年に実施する国連交通安全基金への支援に加えて、グローバル各地域で地域社会に寄り添った交通安全への取り組みを強化しています。これらの活動を通じて、人々の安心で心地よい移動、暮らしを支えています。



Empowerment

すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりに コミットする

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)の推進、パラアスリート支援など、地域社会、人々の生活に寄り添い、様々な社会課題の解決に向けた取り組みに注力しています。2023年より社内ベンチャー化し、起業家精神を持った多様な人材が集結している探索事業のソフトロボティクス事業では、ブリヂストンのDNAである「お客様の困りごとに寄り添う」をベースに、ゴムの力ですべての人の生活を支えることに挑戦しています。

Bridgestone E8 Commitmentを通じた新たな企業文化の創造へ

Bridgestone E8 Commitment (以下、E8コミットメント)は、当社グループの最高位の従業員表彰制度であるブリヂストングループアワードや、TQM (Total Quality Management) 大会において、主要な審査基準として取り入れられ、実際のビジネスや現場の改善活動にも組み込まれています。

従業員一人ひとりの価値創造と結びつき、新たな企業文化の創造の軸として、更なる浸透活動を推進していきます。

以下に昨年の受賞者の声をご紹介します。



片江 達也

北九州工場 製造部 製造課

グループ・グローバルTQM大会—グランプリ受賞

私は鉱山車両用タイヤ生産において、匠の技術が必要となる作業の習熟度のバラつきを抑制し、基準に満たないタイヤを減らすことに取り組みました。E8コミットメントを通じて私自身のサステナビリティへの意識を高めるとともに、ブリヂストンの仲間と向かっていくゴールの共通認識を持つことができました。また、これまでの当たり前を違う視点で捉えることで、社会やお客様に対してどのような価値を生み出すことができるのかを考える新たな切り口にもなりました。固定観念にとらわれず、新しいことへのチャレンジで仕事への充実感が高まったと感じており、これからもE8コミットメントを軸に、改善を繰り返しながら、タイヤ生産の品質向上とお客様価値の最大化に向けて歩み続けます。



Sarocha Pongboon

Industrial Engineering, Production Planning, Bridgestone Tire Manufacturing (Thailand) Co., Ltd.

グループ・グローバルTQM大会—感動賞受賞

私たちは、「E8コミットメント」を指針として、お客様に満足していただくための品質向上、生産コストの削減、業務効率の向上など、さまざまな改善活動を実施しています。E8コミットメントは、ブリヂストンが目指す「持続可能な社会」の実現を明確に示しており、私たちの仕事の目標をより深く理解し、社会や地球環境への影響を考慮しながら生産量を増やすことに焦点を当てた考え方を育むのに役立っています。その結果、「現物現場」の活動をもとに、様々なプロジェクトで関連部門と協力しながら生産効率を向上することができました。今後もE8コミットメントを職場で活用し、自分のスキルや知識を高め、ブリヂストンの成長に貢献したいと思います。



Jill Suwanski

Associate General Counsel, Data Privacy Officer and Corporate Secretary, Compliance, Data Privacy and Global Risk, Bridgestone Americas, Inc.

ブリヂストングループアワード受賞

情報セキュリティ活動は、事業の効率化やデータへの容易で安全なアクセスなど企業活動全体を根幹から支えています。2022年にサイバー攻撃を受けた際も、まずは状況把握及び会社・従業員・お客様情報を守るべく懸命に対処し、関係者に安心頂けるようコミュニケーションにも努めました (Ease)。強い責任感と情熱を持って危機に立ち向かったことは、私達ITチームの日頃の業務の重要性を再認識し、モチベーションを向上させる Empowerment にも繋がっています。さらには、今後モビリティの進化やソリューションの拡大に伴い、データ収集が増え技術も益々進化する中、安全で強固なITシステムの提供を通じ、Extension: 人やモノの移動を止めず、さらにその革新を支えることにコミットしていきたいです。